

ブロック活動報告書

活動申請書:No.2018-08

作成日:(西暦)2018年11月27日

ブロック:九州ブロック

名称: 意思決定支援～実践編

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」を活かした支援できていますか？

1. 実施日時:2018年11月17日(土) 9時30分～16時30分
2. 会場:福岡県教育会館
3. 講師:板井孝壱郎先生、馬場美代子氏、安部美保氏、宮城愛子氏
4. 参加人数:計27人(会員:17人 非会員:10人)

県名	人数	県名	人数	県名	人数
福岡県	5人	宮崎県	2人	鹿児島県	4人
長崎県	0人	大分県	7人	沖縄県	1人
佐賀県	3人	熊本県	5人	県	人

5.活動内容の報告

(1)活動の目的

昨年度は、「終末期における利用者家族の意思決定支援」に関する基礎編の研修会を開催したため、今回は「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」をもとに、ロールプレイを交えた実践編を習得する機会とした。また、各県での訪問看護認定看護師の活動を知り、グループワークで各人の活動での悩みや活動の効果として現れている点を出し合い、互いに学び、鼓舞しながら、これからの活動の参考になることを目的とした。

(2)具体的な内容

【午前の部】

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」
を活かした支援できていますか？

宮崎大学医学部生命・医療倫理学分野 教授 板井孝壱郎先生

【午後の部】

・各県の訪問看護認定看護師の活動報告

佐賀県・馬場美代子氏

沖縄県・宮城愛子氏

・認定更新を行った経験談

大分県・安部美保氏

・交流会(グループワーク)

訪問看護認定看護師として感じている悩み・どう活動すべきか

(3)活動の効果

今回の研修会は、ガイドラインの活用を今後どうすべきか？という全体の関心事であるため、会員だけでなく、九州の病院や訪問看護ステーション全域にお知らせを配布したことや、各県の訪問看護認定看護師が声をかけてもらったことで、非会員、特に病院看護師含め、27名中10名の参加があった。ACPという難しい課題であったが、板井孝壱郎先生の講義が面白く、笑いの絶えない時間であり、その中でロールプレイも交えながら、ACPをすすめて行くに当たり、どのような声かけや関わり方をすればよいかを学ぶことができた。

各県の活動報告では、人材確保が困難な課題に対しての佐賀県の取り組みや、沖縄県の独特の風土と認定看護師としての取り組みを学んだ。特に沖縄県の活動報告は興味深いものであった、という感想が多かった。交流会では、昨年度と同じように、現在の活動で悩んでいることや活動の成果についてグループワークを行い、前回と今回の違いは、前は悩み事を話し合う場で終わった部分があったが、今回は活動の成果として現れていることも多く、実践の場に戻ったときに、「悩んでいたけど、私もやってみよう」という前向きな結果で終わることができた(グループワークの内容は別紙に記載)。
会を重ねるごとに、九州ブロックの訪問看護認定看護師の団結力が強くなっており、協議会の存在が浸透してきていると感じた。



～研修の様子～

～グループワークの様子～



～板井先生と研修参加者～